

## 第5章 重点プロジェクト

---

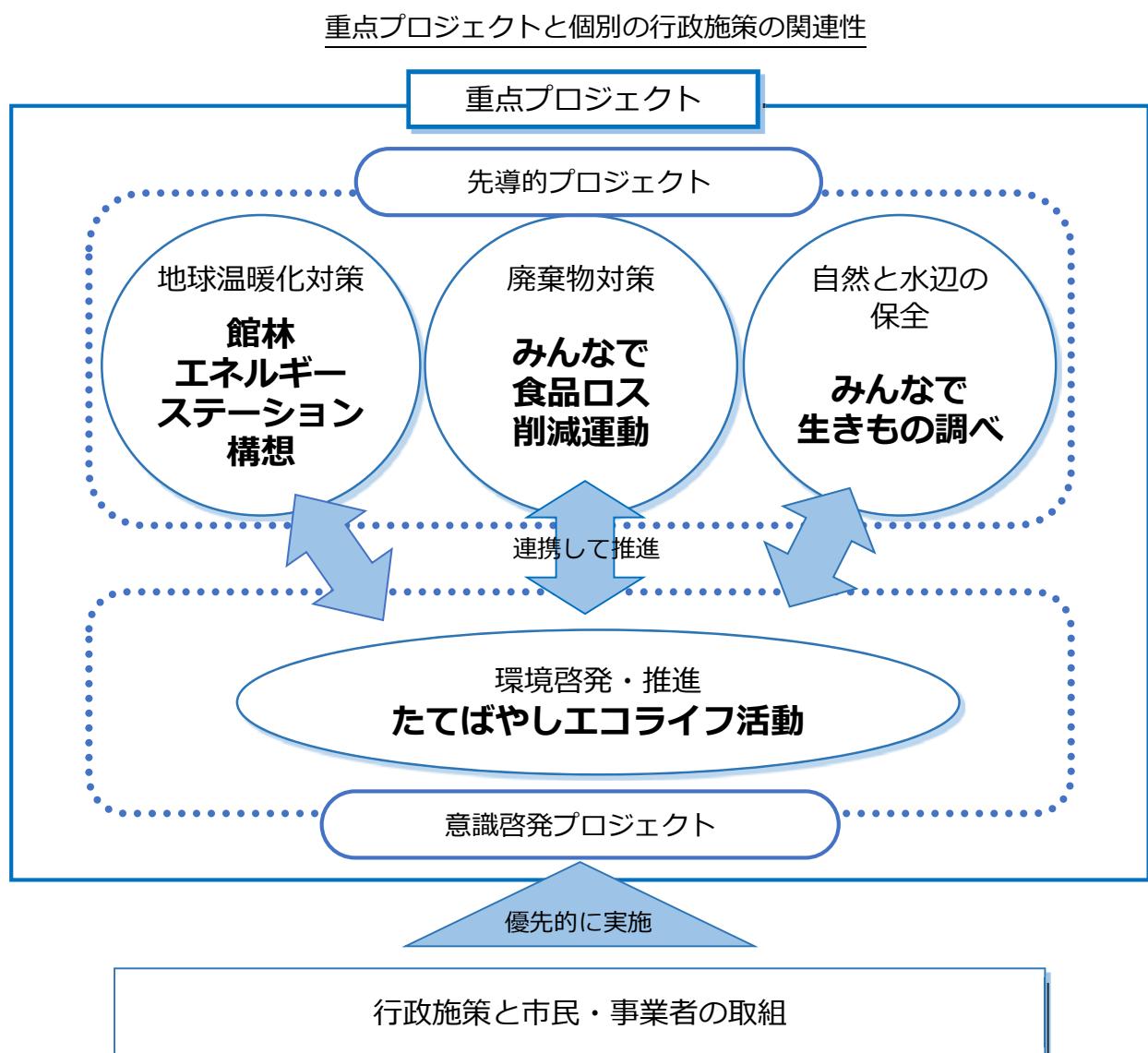
## 5. 重点プロジェクト

### 1 重点プロジェクトの考え方

重点プロジェクトとは、行政施策の中でも、社会情勢や市の環境特性を考慮し、先行的に取り組むべき事業、部門横断的な事業、市民・事業者との協働が特に必要な事業などを指し、市として優先的に実施していくものです。

本市の重点プロジェクトは、館林市環境基本計画を具現化するための『先導的プロジェクト』と、先導的プロジェクトを含むすべての分野に関係し、環境基本計画全体を推し進めるための『意識啓発プロジェクト』で構成されます。

重点プロジェクトと個別の行政施策双方を推進していくことで、計画に示された『望ましい環境像』を達成していきます。



## 2

## 先導的プロジェクト

地球温暖化対策  
『館林エネルギーステーション構想』

## 関連する行動目標

- 〈14〉 再生可能エネルギーの導入を推進する
- 〈17〉 低炭素なまちを形成する

## プロジェクトの視点

温室効果ガス削減のためには、再生可能エネルギーの活用やエネルギーの有効利用などを促進し、低炭素なまちづくりを進めていくことが重要です。

本市の公共施設において、再生可能エネルギーや未利用エネルギーの導入検討・推進を図り、そのエネルギーを有効利用することで、低炭素なまちづくりの拠点を整備し、市域全体及び広域圏における低炭素化を進めています。

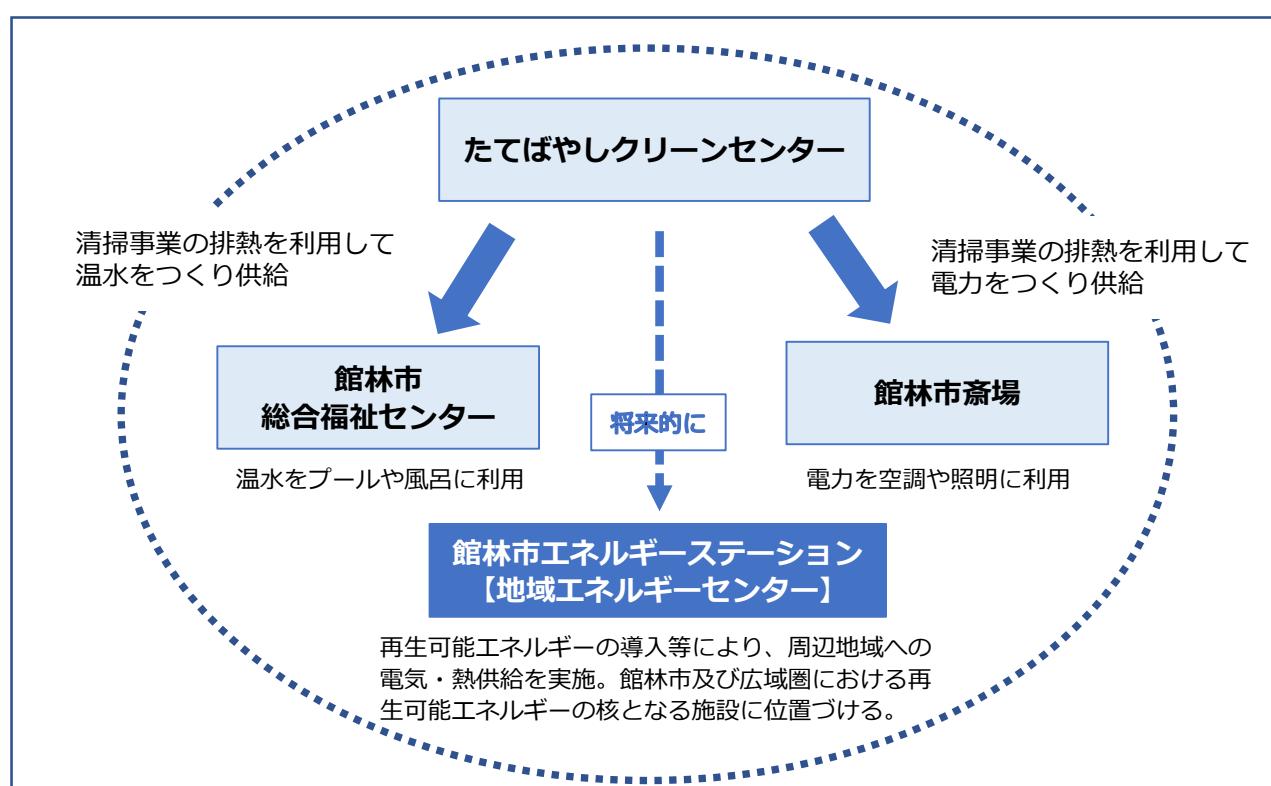
## プロジェクトの概要

本市には広域共同ごみ処理施設としてたてばやしクリーンセンターがあります。ここで発生するごみ焼却による熱エネルギーは、発電や熱供給に利用することができます。

そこで、この熱エネルギーを有効に利用するため、近接する公共施設等へのエネルギー供給についての検討を行っていきます。

このたてばやしクリーンセンターを起点に、周辺の公共施設等へのエネルギーの有効利用や再生可能エネルギーの導入を推進することで、市域全体及び広域圏における低炭素化へつなげていきます。

## イメージ図



## 廃棄物対策

## 『みんなで食品ロス削減運動』

## 関連する行動目標

〈16〉循環型社会を形成する

## プロジェクトの視点

本市では、これまでのごみ減量、リサイクル、及び分別の徹底により、1人1日当たりのごみ排出量は減少していますが、まだ国民1人1日当たりのごみ排出量より多い状況となっています。

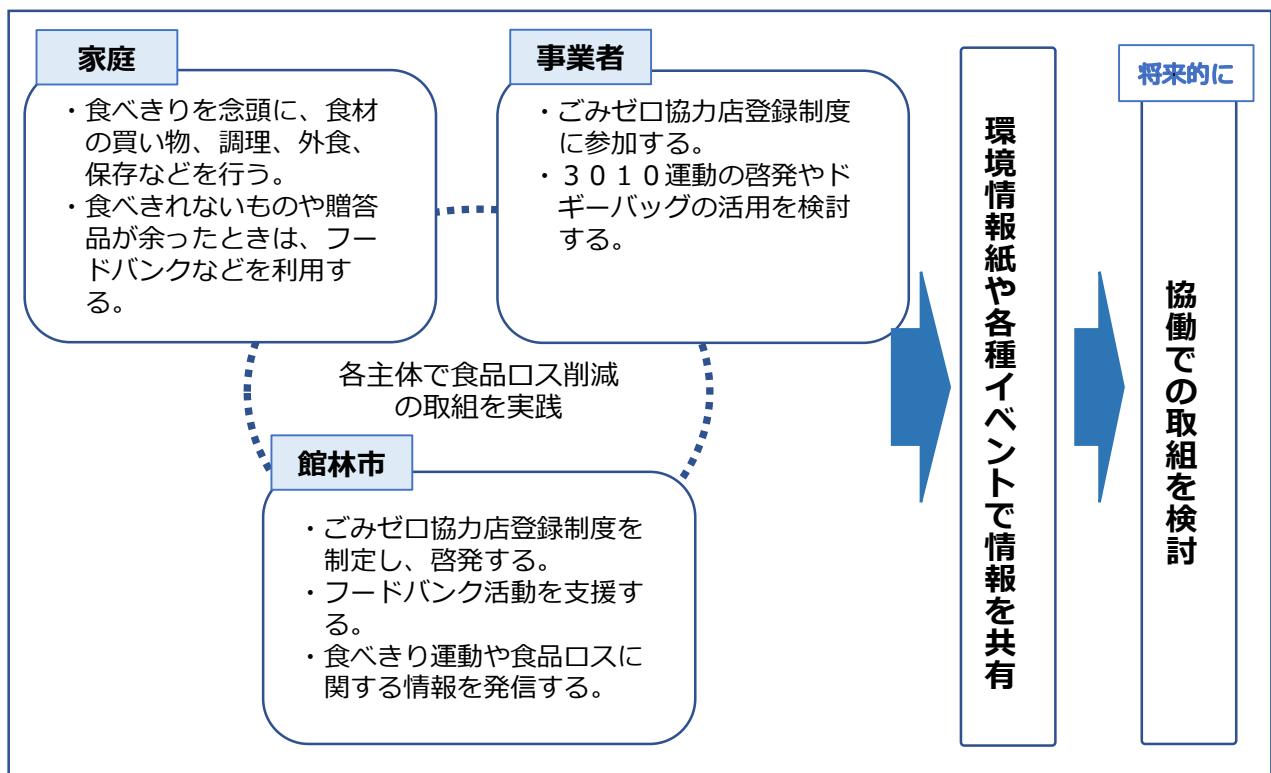
令和元年5月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が成立、同年10月に施行され、市民・事業者・行政それぞれが主体的に食品ロスの課題に取り組み、食べ物を無駄にしない意識の醸成とその定着を図ることと、まだ食べることができる食品については、廃棄することなく、できるだけ食品として活用することが求められることとなりました。

食品ロスの削減は、ごみの減量にもつながることから、市域全体で取り組むべき課題です。食品ロスについての啓発活動を推進することで、更なるごみの発生抑制を進めています。

## プロジェクトの概要

各主体がそれぞれ食品ロス削減の取組を実践できるよう、市では、様々な食品ロスに関する情報発信を行うとともに、食品ロス等の削減に協力を行う小売事業者や飲食店等に対する「ごみゼロ協力店登録制度」の設置や、フードバンク活動の支援や食べきり運動の推進など、市民・事業者が取り組むための環境を整備していきます。

## イメージ図



## 自然と水辺の保全 『みんなで生きもの調べ』

### 関連する行動目標

- 〈2〉水辺環境を守る
- 〈4〉生きものの多様性を守る
- 〈5〉自然とのふれあいを創造する

### プロジェクトの視点

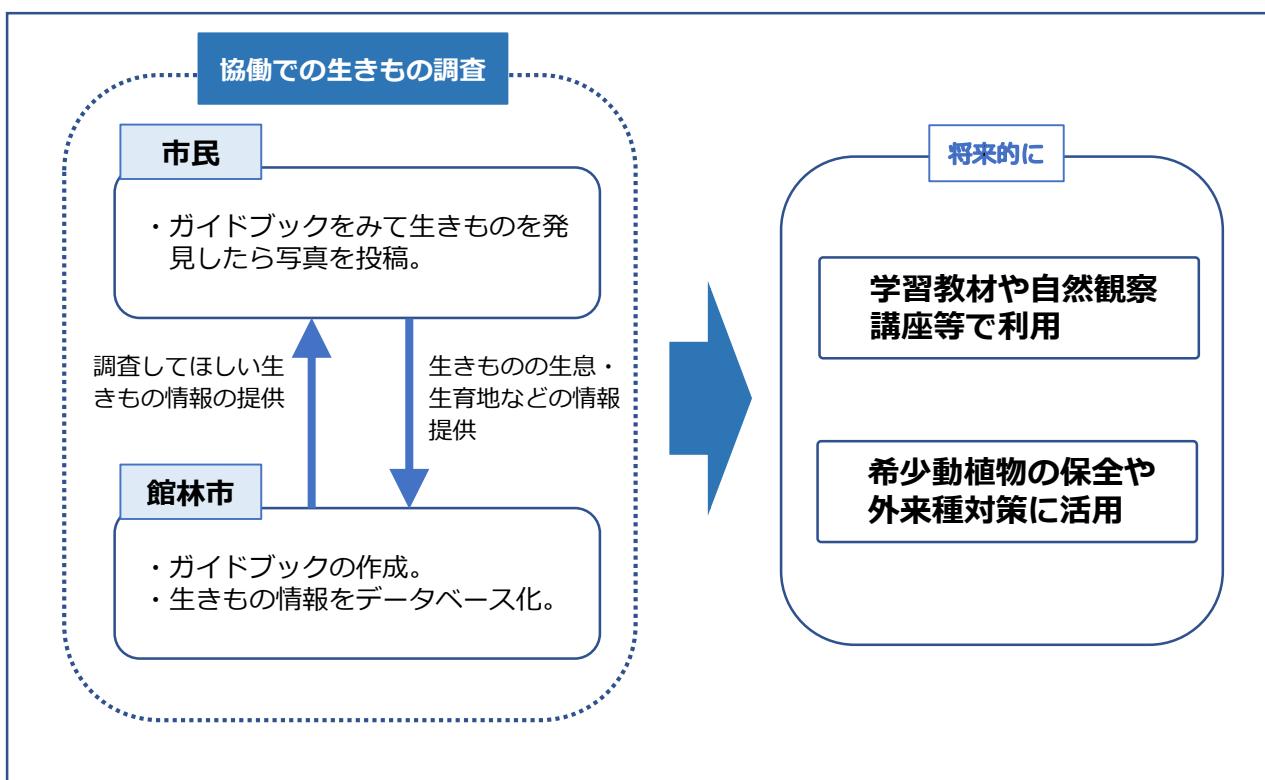
本市は、沼地など豊かな水辺環境に多様な動植物が生息・生育しており、数多くの貴重種もみられる自然豊かな地域です。また、沼辺文化「里沼（SATO-NUMA）」が日本遺産に認定され、市域全体の自然環境の保全に継続して取り組んでいくことが必要とされています。

一方で、失われつつある貴重種もあり、これらの保全のためには、定期的にどのような生きものがどこに生息・生育しているのかを把握していく必要があります。市内に点在している生きものの調査には時間と手間がかかることから、市・市民の協働での取組が不可欠であり、市民参加型の生きもの調査を進めていきます。

### プロジェクトの概要

「みんなで生きもの調べ」の取組に当たっては、調査対象となる動植物を写真入りで紹介する「生きもの調査ガイドブック」を作成します。ガイドブックを学校等を介して配布し、市民に生きものの発見日時・場所、写真などの情報を投稿してもらい、投稿された情報はデータベースに蓄積し、学校教材や自然観察講座等の資料として活用していきます。また、希少動植物の保全対策や外来種対策などにも役立てていきます。

### イメージ図



### 3 意識啓発プロジェクト

環境啓発・推進  
『たてばやしエコライフ活動』

## 関連する行動目標

- 〈15〉省エネルギーを推進する
- 〈20〉環境への理解を深める
- 〈21〉環境の学びの場を育む
- 〈22〉環境の活動の場を広げる

## プロジェクトの視点

環境基本計画の実行主体は、市内のすべての人々、市民・事業者・各種団体・行政であり、四者の協働なくしては、館林市の『望ましい環境像』の実現は困難です。

市民・事業者・各種団体が、ライフスタイルや経営姿勢を変え、環境に配慮した生活・事業を営んでいくには、環境活動への興味・関心を高め、その取組に期待や賛同し、そして、参加していくというような、段階的な取組が必要です。

環境意識を啓発するための活動を通じて、市域全体の環境意識を高め、3つの先導的プロジェクトを一層充実させていきます。

## プロジェクトの概要

「たてばやしエコライフ活動」は、既にたてばやし学校エコライフ活動を実践している小中学校での取組を、市民・事業者・各種団体等が支援したり、協働で取り組むことにより、地域ぐるみの環境活動に広げるものです。

学校から家庭・地域の事業者、そして地域全体へエコライフ活動を段階的に展開していきます。

イメージ図

